

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

課	意見等提出地区	意見・要望	回答
1 都市整備課	隈庄手	大雨の時は、中ノ島の沈み橋が水没すると孤立してしまう。10年前浄明寺橋に木製スロープをかけてもらったが、自動車避難できる道がほしい。それができないなら、その木製スロープをゆるやかな勾配のスロープに変えてほしい。	【回答】 ・緊急避難用連絡通路は、平成7年度に設置し、老朽化に伴い平成25年度に改修を行いました。 ・スロープは、庄手川の河川区域内であり、国土交通省から占用許可を受けて設置している施設です。 ・現在のスロープ勾配は約23% (H=2.6m, L=11.2m)であり、基準勾配5%に対応した場合は、スロープ延長が52m程度になるため、河川堤防の占用面積が増え、国土交通省が行う河川管理に支障が生じます。このため、スロープ勾配の施設改修は困難です。 ・大雨の時は、早めの避難をお願いします。
2 防災・危機管理課	隈庄手	この地域の防災委員は、10年来ほとんど変わらず同じ人で、高齢者が高齢者を支援して避難している。重い避難グッズを持ってない高齢者が多いので、この地域に備蓄を考えてほしい。	【回答】 ・備蓄は孤立等を想定し、市内19カ所に分散して配置しており、長期避難時には、市からの支援を行います。 ・短期避難時については、まずは日ごろからの備蓄をお願いします。また、今年度から自治会の備蓄についての補助制度を設けました。活用をお願いしたい。
3 防災・危機管理課	隈庄手	屋外放送は、放送のやり方として、奥（遠方）を入れて手前（近隣）を切る等、順次、地域のスピーカーのスイッチを交互に切ると、こだますることなく聞こえる。そういうやり方をしている市がある。一度試してみると良い。	【回答】 ・本市の屋外放送においても、緊急時を除き、近接するスピーカーに時間差をつけて放送を行っています。 また、今年度から、戸別受信機の整備について検討しています。整備後は屋内での各種情報の受信は向上するものと考えています。
4 都市整備課	隈庄手	中ノ島下の左岸に、以前作った蛇籠150mが破れて清掃ができていない。構造物のやり直しをお願いしたい。	【回答】 ・筑後川河川事務所日田出張所に問い合わせたところ 「河川工事については、平成29年度九州北部豪雨で被災した花月川の復旧を優先的に行っている。三隈川や隈川等については、経過観察によって緊急性を確認しながら、被害の拡大がないよう適切に維持管理していきます。」との回答がありました。
5 防災・危機管理課	隈庄手	今回の岡山の水害でも、高校生等がツイッターで「助けてください」等と発信している。 発信する側、受け取る側に意思疎通がない。もっと若い人の情報をくみ取る必要があるのではないか。	【回答】 ・災害情報等については、市ホームページや市フェイスブックによる発信を行っています。 ・ツイッター等を活用した情報収集について、今後検討を行っていきます。
6 防災・危機管理課	隈庄手	北友田3丁目川浪組の川下の1級河川を50mほど埋め立てているので、川幅が狭くなっている。大雨の時は危険なので、市で把握しておいてもらいたい。	【回答】 ・市において状況を確認しました。 ・筑後川河川事務所日田出張所に問合せたところ、「短期間の河川内行為について、占有者からの書類を受理しており、行為後は現状回復しています。」との回答がありました。
7 土木課	田島	・弓道場裏の急傾斜地の工事はどのようになっているか。	【回答】 ・平成30年度の市営急傾斜地崩壊対策事業で対応を行っています。 ・平成30年度：測量設計、平成31年度：対策工事（H31.6月発注予定）
8 土木課	田島	（昨年九州北部豪雨による大原通りの冠水状況の映像をスライドに投影しながら）平成24年に2回、昨年は4回家に水が入った。この映像から、小ヶ瀬水路が溢れたのではない。3方向から水が集まって、一気に（大原屋）前の道路を流れているものである。すべて雨水であり、泥水ではない。道路の排水をお願いしたい。	【回答】 ・自治会長と現地を確認を行っています。 ・平成30年度末を目途に、大原グランド入口の箇所付近に横断側溝を敷設予定。 ・設置位置については、施工前に再度地元と確認を行います。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の大地震を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

	課	意見等提出地区	意見・要望	回答
9	社会福祉課 防災・危機管理課	田島	避難訓練に、アパートやマンションの人たちが参加しない。アパート等の管理会社を通じて、自治会に協力するような協定はできないか。また、市から届いた要援護者台帳の中に、昼間は病院で、夜間のみ施設で生活している人がいる。自治会には加入していない。協力はしたいが、具体的には難しいと考えている。どうすればよいか教えてもらいたい。	【回答 林業振興課】 ・地元自治会と施設の管理事業所の担当者、社会福祉課障害福祉係担当者と協議を行いました。施設に入居されている方は、将来的には一般のアパート等での自活も視野に入れた生活訓練をしている状況であり、地元の方との触れ合いは重要であることから、自治会に加入し、自治会行事にも積極的に参加したいということや、避難については、基本的に施設管理事業所で実施する旨を確認しています。  【回答 防災・危機管理課】 ・アパートやマンション入居者の避難訓練の参加要請については、宅建協会を通じて周知することを検討するとともに、広報等による啓発にも努めます。
10	防災・危機管理課	田島	「防災訓練」と「防災教育」の違いを伺いたい。	【回答】 ・防災訓練は、子どもから大人まで対象者は様々で、避難訓練や消火訓練等さまざまな内容が考えられます。 また、防災教育は児童生徒の生きる力をはぐくむ学校での教育であると考えます。 ・防災教育では、特に災害時にとるべき行動など、身を守るために必要な知識を習得し、防災訓練を実施することが、日頃の備えの取組として重要と考えています。
11	健康保険課 (とりまとめ)	五和	すべての避難所にAEDの設置が必要ではないか。	【回答】 ・市の指定避難所につきましては、より安全な場所を避難所とするための見直しを行っています。新しく指定避難所が決定した際には、AED設置を検討します。
12	防災・危機管理課	五和	五和振興センターには段ボールベッドが現在1個しかない。3、4個増やしてほしい。	【回答】 ・保管場所の都合により2個追加しました。
13	都市整備課	五和	今回、筑後川の水量が多く、内河川の水がはけなく、国道が浸水した。筑後川の水位を下げる方法はないか。国土交通省に要望してほしい。	【回答】 ・筑後川河川事務所日田出張所に問い合わせたところ 「浸水の状況や浸水の原因等を調査し、対応について河川管理者（内河野川）等、関係機関と協議をしていく。」との、回答がありました。
14	林業振興課 土木課	五和	串川など洪水時には石の音がすることがある。流木などによる土石流も心配である。	【回答 林業振興課】 ・河川等へ流れ込む流木被害を防止・軽減するためのスリット式治山ダムについては、地元からの具体的な設置要請を受け、治山事業を行う県西部振興局への要望を行っていきます。  【回答 土木課】 ・地元からの情報をお願いします。 ・振興協議会からも県への要望活動をお願いしたい。
15	長寿福祉課	五和	福祉避難所の情報を提供してほしい。	【回答】 ・福祉避難所は、災害時に、一般避難所では避難生活が困難な高齢者や障がい者等を受け入れる二次避難所です。現在、社会福祉法人等が運営する特別養護老人ホームなど、市内31施設と協定を締結しています。 ・災害発生後の入所については、一般避難所に避難された方で、特別な配慮を必要とする方等がいた場合、災害の規模や協定施設が受入可能な状況にあるかなどの総合的な判断に基づき、福祉避難所として開設された上で入所するものとしています。 詳細については市・長寿福祉課にお問い合わせください。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

	課	意見等提出地区	意見・要望	回答
16	防災・危機管理課	小野	老人憩いの家の前の小野保育園の講堂が十分使えるので、クーラー等整備が整えば源栄町と殿町の避難所として使えるがどうか。	【回答】 ・小野保育園の講堂は土砂災害警戒区域内にあります。 ・小野地区の指定避難所である「小野公民館および小野小学校」への避難が望ましいと考えます。
17	防災・危機管理課	小野	以前の災害時、安全と言っていた老人憩いの家に避難していたら、保育園のほうに避難するよう指示があった。河川に近いので、水が増えてまた元の場所に戻ったことがある。裏山に大きな木があるので、防災課で山主の所有者を全部調べてもらった。今後交渉して伐採を考えているが、あまり安全な場所ではないと思う。	【回答】 ・老人憩いの家は、土砂災害警戒区域内にあることから、小野地区の指定避難所である「小野公民館および小野小学校」への避難が望ましいと考えます。 ・平成29年九州北部豪雨時に地域の避難所として利用された実績もあることから、豪雨時等に避難する場合には、可能な限り裏山から離れた、グランド側に面した部屋を利用することが望ましいと考えます。
18	防災・危機管理課	小野	昨年の災害で老人憩いの家を7日間避難所として使ったが、トイレが少なく便槽が一杯となり、臭いがしたり、ハエがでたりしたので環境整備をしていただきたい。またクーラーがないし、長期になると板張りの上に薄い畳があると良いと思う。	【回答】 ・自主避難所の施設を改修する事業は現在ありません。 ・長期の避難の場合は、小野地区の指定避難所である「小野公民館および小野小学校」への避難が望ましいと考えます。
19	農業振興課 土木課	小野	【市から】 家屋に隣接した補助対象とならない小さな災害等は、市の単独事業で早期に取り組むので、情報等があったら提供していただきたい。調査して早急に取り組む。	【回答 農業振興課】 ・農地及び農業施設の小さな災害は、H29年被災であれば農地70%、施設85%の高率補助で現在も対応中である。事業費10万～200万が対象でH31年度も継続していく考えです。 小野地区においては、H29年災－22件、H30年災－1件が対応済みである。  【回答 土木課】 ・地元からの情報提供により現地調査を行い随時対応を行っています。
20	都市整備課	東有田	岩美町で、必ず家に水が上がる所が1軒ある。今回の県工事箇所には入っていない。市長から県へ工事するように言ってもらいたい。	【回答】 ・大分県日田土木事務所に問い合わせたところ 「向原橋周辺については、今回の災害関連事業で改修を行う予定はありません。橋脚の下流側に土砂が堆積していることから、河床掘削について検討します。」との回答がありました。 ・市としても、関係機関と連携し、対応を協議していきます。
21	防災・危機管理課	東有田	池辺町に危険箇所（土砂災害警戒区域？）の看板があるが、文字が消えて内容がわからない。	【回答】 ・危険箇所の指定は県が行い、この看板の設置は、県の補助金で旧市町村が整備しました。このことから県にも看板の老朽化に対する対応方針を確認しましたが、今のところ未定とのことです。 また、この危険箇所については、現在、土砂災害警戒区域として県が調査を行っており、調査完了後には、看板の取り扱いも含め県と協議を行います。 なお、避難所見直しや災害ハザードマップ見直し時には、図面により地区内の危険箇所の周知も行っていることから、この図面も参考にしていきたい。
22	情報統計課	東有田	本村公民館など町内公民館に告知放送も市ケーブルテレビも付けているが、普段使用しないので料金を払っていないために映らない。避難所等の非常時には映るようにしてもらいたい。	【回答】 ・地区公民館などの自主避難所について、連絡を受ければ避難期間につき水郷TVのテレビ放送を送信しています。 なお、自主避難所の配線工事は自己負担をお願いします。
23	土木課	東有田	周辺の急峻な所は、市道が洗い流されてデコボコになり、道路側溝も詰まってしまう。人力で浚渫しているが、小さな油圧ショベルが良いからすぐに対応してもらえないか。土捨て場はある。	【回答】 ・月出町の本月出集落の班長さんと立ち合い、要望の補修箇所の確認を行いました。 ・9月末までに、浚渫及び路面補修の工事は完了しています。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の大きな災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

	課	意見等提出地区	意見・要望	回答
24	土木課	東有田	松野川は、増水するとガードレールまで水が上がるので改良をお願いしたい。ボックスカルバートの中に土砂がいっぱい溜まっている。	【回答】 ・自治会と現地確認を行い、河川護岸の嵩上げが可能か検討しています。 ・カルバート内の土砂浚渫を行う考えです。
25	都市整備課	東有田	川の中に岩や石が多く、早く川から出してほしい。県にもお願いしてほしい。	【回答】 ・大分県日田土木事務所に問い合わせたところ「河床掘削については、多くの要望が寄せられており、予算や管内の河川の堆積状況、背後地の利用状況等を勘案して、浸水実績がある等の緊急性の高い箇所から優先的に行っている。今年度は有田川で緊急性の高い区間の河床掘削を実施している。」との回答がありました。 ・市としても、関係機関と連携し、対応を協議していきます。
26	土木課	東有田	山からの水で道路に亀裂が入っている。一度確認してほしい。	【回答】 ・現地の確認を行い、要望箇所の近接地において、市道の災害復旧工事が予定されており、復旧工事に併せて対応をすることとしています。
27	農業振興課	東有田	池辺地区の農業用水路（約1km）が、土砂ですぐ埋まってしまう。水路改修をお願いしたいが補助金はあるか。	【回答】 ・地元と現地立会いを行い、市単土地改良事業で水路に泥吐き箇所を設置します。
28	防災・危機管理課	竹田地区	避難所の配置で「自主避難所と指定避難所」の見直しについて、南元町は若宮地区で避難所が若宮小学校になっている。地元の南元町公民館を利用することができないか。	【回答】 ・「自主避難所・指定避難所」の見直しを行っており、竹田地区は調査時に協議を行い、決定していきます。 ・協議する時期は本年度内に行う予定です。
29	防災・危機管理課	三芳地区	今年11月の防災士の養成講座が、三芳祭と重なっている。違う日に講座を設けてもらいたい。	【回答】 ・毎年新たな防災士を50名養成することとし、市役所で養成講座を実施しています。 ・本年度は70名を超える方が防災士資格を取得したため、本年度の追加募集は行いません。来年度の受講をお願いします。
30	都市整備課	三芳地区	大部町に高取谷川という川があり、7月の雨で水深2mになり、あと50cmで越流しそうになった。センチナリアンの近くにメガソーラー（三重県の業者）が来る計画がある。すでに土地を借りており、山を整備し木を切ってしまうと高取谷川に、水が流れ込み、川の水が溢れる。	【回答】 ・事業予定者からの事前相談を受け、ソーラー施設の設置に伴う工事の内容によって必要、または、想定される森林法や市条例の手続きについて、「お知らせ」や「お願いをしていること」を現在の進捗状況とともに、大部町自治会長に伝えています。 ・今後、事業予定者も必要な森林法等に基づく手続きを行い、地元のご理解をいただくよう事前に工事説明会を開くことなどを予定しています。
31	防災・危機管理課	三芳地区	三芳小学校と三芳公民館が避難場所になっている。7月の豪雨の時、高齢者等避難・避難準備情報が出たが、公民館主事は研修のため連絡がとれず、体育館は開いていて担当は来ているが、電話による連絡のしようがなかった。避難所に連絡がとれるようにしていただきたい。	【回答】 ・指定避難所は、市の公民館や小中学校の体育館を指定しており、小・中学校の体育館については、職員室しか電話がないため、連絡が取れない箇所があります。 ・一部、市所有の携帯電話の使用を行っている場所もありますが、台数に制限もあり、今後対応が必要と考えます。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の大地震を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

課	意見等提出地区	意見・要望	回答
32 防災・危機管理課	三芳地区	避難場所の見直しについて、三芳地区では、三芳小学校と公民館になっているが、高齢者にとっては、トイレに手すりが完備されていなかったり、場所が遠いなど不便であると聞く。三芳地区には大きな老人施設があるので避難場所にできないか。	【回答】 ・現在、地域の自治会長さん方と協議しながら「自主避難所・指定避難所」の見直しを行っています。三芳地区の調査時に協議し、決定していきます。 ・協議は、本年度内に行う予定です。
33 土木課	夜明地区	砂防ダム建設の説明会では、砂防ダムが土砂で埋まったら、土砂を取り除いて対応すると県土木事務所の回答だったが、6年前の災害後、再度質問したら、土砂は取り除かず手前に新しいダムを建設するという回答だった。現在、ダムは土砂でいっぱいになっており、埋まった土砂を取り除けば、大きな経費をかけて、新しくダムを建設する必要はないと思うので、土砂災害を防止するためにも、市から県に要望してほしい。	【回答】 ・大分県日田土木事務所の砂防事業担当者に今回の意見を伝え、対応をお願いしています。
34 防災・危機管理課 社会教育課	夜明地区	夜明公民館が、指定避難所になっているが、シャワー室を作ってもらえないか。	【回答・防災・危機管理課】 ・避難所目的での、施設改修は行っておりません。長期避難が必要になった場合には、平成29年の避難時と同様に入浴支援を行います。  【回答・社会教育課】 ・シャワー室については、現在のところ設置する計画はありません。
35 防災・危機管理課 天瀬振興局	中川・馬原地区	天瀬町の危険個所を知らせる看板が古くなって警告内容がわからない。	【回答 防災危機管理課】 ・危険個所の指定は県が行い、この看板の設置は、県の補助金で旧市町村が整備しました。このことから県にも看板の老朽化に対する対応方針を確認しましたが、今のところ未定とのことです。 また、この危険個所については、現在、土砂災害警戒区域として県が調査を行っており、調査完了後には、看板の取り扱いも含め県と協議を行います。 なお、避難所見直しや災害ハザードマップ見直し時には、図面により地区内の危険個所の周知も行っていることから、この図面も参考にさせていただきたい。  【回答 天瀬振興局】 ・現在、土砂災害警戒区域を県が調査中であるため、調査完了後に対応を協議します。
36 防災・危機管理課	中川・馬原地区	天瀬町内の防災士が誰だかわからない。日田市から防災講演会の案内が来るが、なかなか出られない状況であるし、消防団とまでは言わないが、防災士の身分を明確にし、支援いただきたい。	【回答】 ・各地域で新たに防災士資格を取得した方がいた場合には、自治会長にお知らせしています。 ・防災士には、地域防災のリーダー的役割を担ってもらうこととしており、日頃の備えに対する周知活動など、安全の確保を最優先させた活動を行ってほしいと考えています。 また、防災士への支援については、スキルアップ研修や自主防災組織活性化補助金（防災士の研修にかかる経費）などの支援を引き続き行います。
37 防災・危機管理課	中川・馬原地区	数か月前に赤岩地区の写真入りの危険個所マップの回覧があった。赤岩地区ほとんどが危険個所だった。どんな危険があるのか、落石があるのか地滑りの危険性があるのか等の情報が記載されているとわかりやすいので、そんな情報公開をお願いしたい。	【回答】 ・避難所見直し時に地区内の危険個所の図面を配布しています。 また、今後、災害ハザードマップの見直しも行う計画であり、この見直しの中でも、土砂災害警戒区域を周知していきます。
38 防災・危機管理課	五馬地区	天瀬地区は広いので、避難指示を地区ごとに出して欲しい。	【回答】 ・気象台の気象警報等は日田市域一括で発令されています。また、市・災害対策本部から、これまで以上に細かく分けた地域に対して、気象情報を分析し避難情報を発令することは困難と考えます。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の大きな災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

	課	意見等提出地区	意見・要望	回答
39	教育委員会 防災・危機管理課	朝日地区	朝日小学校の体育館が避難所になっているが、入口が水に浸かって避難できない。これまで何度も市の職員に見てもらっているが改善しない。いつ改善してくれるのか回答をもらいたい。 朝日ヶ丘（自治会）では、災害時に球場の駐車場や三隈高校を開放できるような何年も前から市の防災担当に言っているが回答がない。市は大変だと思うが一つずつ解決するよう、強く言っておきたい。	【回答 教育委員会】 ・指摘箇所については、道路から下ったところにあり、体育館正面には渡り廊下を通じて校舎があるため、水のたまりやすい場所となっています。 これに対する排水処理能力が小さいことから、再度、排水路を見直し、平成30年度中に対応したいと考えています。 ・朝日ヶ丘球場駐車場は、災害等の非常時に必要に応じて地域の方で開けていただき、安全に十分配慮した上でご利用いただきたいと考えております。  【回答 防災・危機管理課】 ・三隈高校の避難所開設について、三隈高校との「災害時における避難施設としての使用に関する協定書」に基づき必要な場合に開設を行います。
40	土木課	朝日地区	山田町の防災工事はいつしてもらえるのか。山田町に2箇所橋があるが、中央の橋脚を撤去するよう要望している。昨年は、その橋に流木が引っ掛かり、周囲が冠水した。橋脚撤去について回答してもらいたい。	【回答】 ・橋脚のみを撤去することは、構造上不可能です。
41	林業振興課 土木課	朝日地区	市長からは、「砂防ダムは費用がかかり、数も多いことから直ぐにはできない。」との回答はもらっている。原因は上流にあり、倒木も残っている。	【回答・林業振興課】 ・スリット式治山ダムの設置については、地元からの具体的な設置要請を受け、治山事業を行う県・西部振興局へ要望を行っていきます。  【回答・土木課】 ・河川パトロールにより倒木等の状況を確認し、危険な倒木については出水期までに除去を行います。
42	土木課	朝日地区	（災害の）原因は別にあるので、山田町は圃場整備をやってもだめ。河川改修で川をまっすぐするのなら全面協力する。原因は倒木のある市管轄の河川が問題である。	【回答】 ・市管理河川の河川改修の計画はありません。 ・現在、被災した河川については災害復旧事業により鋭意復旧に取り組んでいます。河川内の倒木については出水期までに除去を行います。
43	社会福祉課	朝日地区	社協のボランティアセンターの運営が問題で、社協の職員に知識がなく研修が必要である。マニュアルを見直して機能するようにしてもらいたい。	【回答】 ・ボランティアセンターの運営訓練や研修等は、社協も必要と考えています。 ・社協は、災害ボランティアネットワーク連絡協議会を平成30年2月に発足させ、6月には運営訓練を実施し、災害時における関係機関との連絡体制の確認など、連携強化に努めています。 また、平成31年2月には協議会の研修会を行う予定であり、今後も訓練や研修等を行い、ボランティアセンター運営の向上に努める方針であることを確認しました。 ・ボランティアセンター運営マニュアルについても県共通のマニュアルに基づき、再編成を行っていることを確認しています。 ・市関係部署の職員が災害ボランティアネットワーク協議会の委員となっておりますので、市も協議会と連携をとりながら災害時の運営が機能するよう協力・支援してまいります。
44	防災・危機管理課	朝日地区	自主防災組織図は、町内の大小があっても同じになっている。町内の規模に合わせた組織図が必要である。・（自主防災組織に限らず、防災・減災の取り組みを進める上での）地域の問題点は自治会長の意見を聞いて、早急に回答してもらいたい。	【回答】 ・自主防災組織は、その地域にあった独自の組織体系を作ってもらいたいと考えます。 ・市の組織図は、一つの例として示しており、町内の規模等により作成をお願いします。 また、その作成にあたって、防災危機管理課が相談に応じるとともに、自主防災組織活性化モデル地区での支援も可能です。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

	課	意見等提出地区	意見・要望	回答
45	防災・危機管理課 子ども未来課	朝日地区	・みそらこども園から避難所として使っても良いと言われているが、いろんな足かせがあり、難しいと言われている。行政が園と覚書を結んでもらえると良い。このことは防災に伝えている。地元も知恵を出しているの、行政も応えてほしい。	【回答 防災・危機管理課回答】 ・自主避難所の取り扱い（覚書等）について、他市の状況等確認しましたが、参考になる例はございません。 基本的には、地域の自主避難所の確保については、自主防災組織で確保してもらいたいと考えます。  【回答 子ども未来課】 ・災害の状況や地域の実情等によっては、教育・保育施設を避難所とすることが想定されます。自主避難所として使用することに対して、法的制限はありませんが、入所児童の安全確保が最優先であると考えます。このことから、地元より事前に、施設職員や保護者の方の理解を得た上で活用することについては問題ないと判断します。
46	防災・危機管理課	朝日地区	(要望) 昨年の水害後のアンケートの中で簡単に対応できるものを述べたい。 ①放送が聞き取れない。 ②家庭のプレーカーが落ちた時の対処法を訓練時に教えてもらいたい。 ③罹災証明の提出先が多いので、窓口を一つにしてみたい。 ④「災害に関するお知らせNo.3」の情報が遅かった。 ⑤自主避難所の物品の配布が遅かった。	【回答】 ①放送が聞こえにくい箇所があることは理解しています。現在様々な手段で情報伝達を行っており、メールの登録等をまずお願いします。 また、今年度から、戸別受信機の整備について検討しています。整備後は屋内での各種情報の受信は向上するものと考えています。 ②自治会で実施する訓練の助成等も行っており、また内容についての相談にも応じます。 ③県内統一の被災者台帳システムの導入を検討しています。そのシステムで対応したいと考えています。 ④今後、できるだけ早くお知らせできるよう努力していきます。 ⑤市内の自主避難所は、地域で設定しており、市内全域でかなりの数となり、市で物資を提供することは困難な状況です。市は指定避難所への物資の提供を行っており、災害が落ち着いた段階で指定避難所へ移ってもらいたいと考えています。 また、平成30年度から自治会の備蓄についての補助も追加しており、活用をお願いします。
47	地方創生推進課	朝日地区	・説明資料の中に被災したときの相談場所を入れて周知した方が良い。	【回答】 ・災害に関連する説明会等で使用する資料には、被災時の相談窓口に関する情報を掲載することとします。 なお、相談は本庁1階の「3日以内窓口」、振興局・振興センターの窓口で受け付けています。
48	土木課	西有田地区	ウッド平島公園の下から有田小学校の所に集水マスがあるが、側溝が浅くて水がはけきれない。分散できれば分散してもらいたい。それをしないと、冠水して道路を渡れない。小学校の体育館が避難場所になっても行くことができない。	【回答】 ・現地で自治会長と立会い、道路の冠水を軽減するための試験的な試みとして、集水桝や横断側溝から噴き上がる排水を抑えるため、グレーチングの一部をベニア板で塞ぐ対策を行っており、今後の状況を確認し、自治会と協議を行いながら、本格的な対応を進めます。
49	防災・危機管理課	西有田地区	上小寒水公民館が避難場所だが、川すれすれに公民館があるので、避難に困っている。有田小学校にも避難することができなかった。	【回答】 ・現在、地域の自治会長さん方と協議しながら自主避難所・指定避難所の見直しを行っており、西有田地区の調査時に協議し、決定していきます。 ・本年度内に協議を行う予定です。
50	防災・危機管理課	西有田地区	今、消防整備の話が出たが、振興協議会で有田川から水をとるという要望書を県に提出したが、県も予算がないということで、いま保留の状態である。場所は、有田の初午神社の下の橋。その河川敷に穴を掘っているみたいだが、土砂がたまってしまっていてなかなかできないということ。 ・また、西有田地区は大きな企業が何社か来ており、それぞれ調整池等がある。調整池等に砂が入って、整備ができていないのではないかと。	【回答】 ・消防水利として有田川の状況については、管轄する消防分団に確認したところ、火災時には、必要な水深を確保できる所に可搬ポンプを設置することや消火栓から水利を確保し消火を行うとの回答を得ました。 また、市としても、水位の浅い箇所から揚水が可能な装備についても、消防車両更新に合わせて導入を進めています。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

課	意見等提出地区	意見・要望	回答
51 土木課	西有田地区	関連するが、三池有田線の高速道路がクロスしているところの北側に、ちょっと雨が降ると池になり、排水がうまくいかない。なぜ、池になるかというと、高速道路の水があそこに集結して、求来里川に流し込むようになっているというのが一つ。もう一点は池辺原（台地）の排水路がちゃんとなっていない。	【回答】 ・三池町に関しては、自治会長と現地を立ち合い、市で対応が可能な場合は、随時対応を実施しています。 また、単年度では対応が困難な箇所については、年次計画等により対応を進める事を伝えています。 ・本年は、側溝の整備や蓋かけ等を実施しています。
52 土木課	西有田地区	また、先月の30日に自治会で一斉清掃で草刈りをしていたら、道路の下の方が5メートルくらい地滑りのように、道路のほうにずれてる場所が2か所あった。雨降りとかで暫定的にブルーシートをかけて流出を防いでいるというところがあるが、市役所に申請すればブルーシートの対応ができるのか。	【回答】 ・崩壊の恐れがある箇所は応急等の措置をし、状況に応じて、災害や補修の措置をする事を伝えています。 なお、市道に関係する被災箇所についての対策（シート等による保護）は、土木課で対応します。 民地については、個人での対応となる事も伝えています。
53 農業振興課	大鶴	農業用ため池調査について 田の原公園近くのため池の安全確認調査をお願いしたい。	【回答】 ・田の原池については、平成27年に実施した一斉点検において総合判定結果として、豪雨判定および地震判定ともに「整備の緊急性は低い」という結果でありました。 ・また、西日本豪雨を受けた今年度の緊急点検については人家や公共施設等に影響を及ぼす可能性がある池ではないとして対象とはなっていません。なお、今後の点検予定は未定です。
54 林業振興課	大鶴	広葉樹の植林に対しての助成制度はなくなったのか？	【回答】 ・国、県の公共造林事業で広葉樹の植栽に対する補助制度があり、市も上乗せして助成しています。 ・今年度から、急傾斜地の針広混交林化により災害に強い森づくりを進める、県の事業が始まっています。
55 上津江振興局 防災・危機管理課	上津江地区	消防の可搬ポンプは1基が100キロ近くある。火災時も高齢者は運べないので、倉庫に置いたまま。せつかくあるのに使えない、小型のポンプに変えてもらえないか。	【回答 上津江振興局】 ・平成30年10月に実施した各自治会班長への聞き取りによる実態調査では、大半が人員不足と高齢により可搬ポンプの点検や操作も行えないとの状況にあります。このことから、消防力確保に向けた消防体制の在り方を含め、各地域との広範な協議を進めながら必要に応じて可搬ポンプの更新を進めます。  【回答 防災・危機管理課】 ・消防団が管理する可搬ポンプについては、地域の状況、消防分団の意向を確認しながら、更新の際には、規格等の検討を行いたい。 ・自主防災組織が所有する可搬ポンプの更新については、自主防災組織活性化事業補助金（7割補助）の活用を検討していただきたい。
56 上津江振興局	上津江地区		【回答】 ・行政によるパトロールのみでは、全ての道路状況を速やかに把握することは困難です。 現在、各種の会議等を通じて道路状況をはじめとする情報を振興局に通報していただくよう各地域にお願いしておりますので、積極的なご協力をお願いします。
57 防災・危機管理課	上津江地区	常勤の消防職員の数は増えたが、非常勤の消防団員は不足している。例えば、市の新採用職員は半強制的に消防団員にするくらいやってほしい。	【回答】 ・消防団員加入を強制することは難しいと思われませんが、新入職員の研修時には消防団活動について説明し、居住地の分団へ加入するよう勧誘を行っています。 また、職員に対して、各分団の欠員情報を周知し、団員募集を行っています。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の大地震を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

	課	意見等提出地区	意見・要望	回答
58	大山振興局 防災・危機管理課	鎌手・大山・都築	小学校が避難所になっているが避難指示が出ても、実際少人数の住民の方しか避難してこない。地域の防災士として横のつながりが無いので集落独自で行っている。認知症の方の避難誘導も考えなくてはいけないと考えている。防災士の横のつながりを市がリードしてほしい。	【回答 大山振興局】 ・平成30年11月に大山町防災士懇談会を開催して、防災士間の連携の強化などを目的とした「大山町防災士協議会」を設立することが決定しました。 現在、協議会の設立総会の開催に向けた準備を進めています。  【回答 大山振興局】 ・日田防災アドバイザー連絡協議会が中心となり、先進地視察等を計画するなど、防災士の組織づくりについての協議を進めているところです。
59	防災・危機管理課	鎌手・大山・都築	避難指示が出て避難したが、公民館にTVがなく防災情報が全く入らない。ラジオも持っていったが全く入らない。市の防災放送も雨の音で聞こえず孤立した。公共施設なのでTVを設置して視聴料を無料にしていきたい。	【回答】 避難所等への防災情報の伝達手段については、現在、280MHz帯防災行政無線の戸別受信機を整備する計画を進めております。 この戸別受信機は、市からの防災情報や避難情報等を伝達するもので、特徴として容易に持ち運びができ、乾電池での使用が可能であることから、公民館での防災情報の取得が可能と考えています。 したがって、防災情報の伝達のために、地域の公民館へのテレビの設置及び視聴料を無料とする計画はございません。
60	大山振興局 農業振興課	鎌手・大山・都築	広島・岡山の災害ではため池が問題になった。大山にも県の調査が入ったが、結果を聞きたい。	【回答 大山振興局】 ・県による調査の結果、田来原では決壊につながる亀裂などは見つかっていません。 ただし、異常な降雨の際は安全な場所に避難してほしい。また、東釣では一部に損壊が見られたものの、現在は埋め立てを実施するなど対応は完了しています。  【回答 農業振興課】 ・平成30年8月のため池点検において、堤体に陥没や空洞が確認された。地元に取り組みを行なったところ現在は使用されていないことから地元協議の結果、ため池を廃止し、県工事の残土で埋め立て対応済みである。
61	大山振興局	鎌手・大山・都築	山の崩落は少しの雨でも危険である。今崩落している山は、緊急性を要するので早い対応をお願いします。	【回答】 ・市内には崩落の危険性がある場所がいくつも存在するため、県とともに順次、対応を進めます。 なお、鎌手地区から提出された要望については、県の西部振興局にも提出しているため、対応に関する協議を進めてまいります。
62	大山振興局 防災・危機管理課	鎌手・大山・都築	福祉避難所の開設について伺う。	【回答 大山振興局】 ・福祉避難所は、災害発生時に一般の避難所では避難生活が困難な高齢者や障がい者等に限り受け入れを実施する二次的な避難所として開設されるもので、施設の被災状況や受入に必要となる体制の有無などを勘案する必要があるため、現状では希望者が福祉避難所に直接入所することはできません。  【回答 防災・危機管理課】 ・災害時の福祉避難所への入所につきましては、一般避難所に避難された方で特別な配慮を必要とする方がいた場合、災害の規模や福祉避難所となる施設の受け入れが可能な状況にあるかなどの総合的な判断に基づき、福祉避難所として開設された上で入所することとしております。
63	教育総務課	三花地区	三和小避難所が開設したので避難すると、学校にまだ児童がいたが、学校との連携はどうなっているのか。	【回答】 ・授業等の教育活動が行われている時間内に学校施設を避難所として開設する場合は、防災危機管理課からの依頼により、教育総務課から当該校へ避難所開設の連絡を行っています。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の大地震を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

	課	意見等提出地区	意見・要望	回答
64	防災・危機管理課	三花地区	災害時には、各班長が各家に避難情報を知らせているが、避難所に行きたがらない人や親戚や知人宅に避難する人もいて大変だった。花月コミュニティーセンターを市の指定避難所にしてほしい。 ・自治会、班単位で連絡ができる災害用の個人端末として各個人の家に設置してほしい。	【回答】 ・以前は花月小学校を市の指定避難所としていましたが、現在は花月コミュニティーセンターに変更しています。 ・災害用の個人端末として、280MHz帯防災行政無線の戸別受信機を全世帯を対象に整備する計画を進めているところです。
65	防災・危機管理課	三花地区	・防災の拠点を地域に置くことを検討してほしい。 ・地域住民に防災に対する啓発活動を行ったらどうか。 ・防災について市が考えていること、地域が考えていること、持っている情報等にズレがあるため、協議をする場を設けてほしい。	【回答】 ・防災拠点を目的とした新たな施設を整備する計画はございませんが、振興局や振興センター等の施設に食料や資機材等の備蓄を行うなど、災害に備える体制づくりを進めてまいります。 ・広報ひたやふれあい宅配講座、大分県防災アドバイザー派遣事業等により、防災に対する啓発活動を引き続き行います。 ・今年度は、防災士スキルアップ研修において、防災士の意見を伺いました。引き続き地域防災の中核である消防団や防災士との意見交換を行ってまいります。 また、自主防災組織等につきましても、要請いただければ意見交換の場を設けてまいります。
66	防災・危機管理課	前津江地区	今後、地域でどこに避難すれば良いか検討したいが、避難の基準を教えてください。	【回答】 ・避難勧告等の避難情報は、気象警報や降雨予測、河川水位情報、土砂災害警戒情報などの防災情報を基に発令しています。 ・避難行動に時間を要する高齢者などの要配慮者は、避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら避難を開始してください。 なお、避難情報が発令されていなくても、身の危険を感じたら一刻も早く避難を始めてください。
67	林業振興課	前津江地区	平成28年の地震では、鎌手からの県道が土砂崩れで通行止めになった。ので、竹の迫林業専用作業道を有事の際、迂回路として使用できないだろうか。もう一つの林道「曾家中津江線」は県が整備したが、中津江側の一部は維持管理ができていないのでなんとかしてほしい。	【回答】 ・竹の迫林業専用作業道については、市の管理林道ではないため災害時の迂回路として使用の判断はできません。災害の状況によっては、林業専用道も危険を伴う場合もあります。 ・林道曾家中西線については、平成30年7月西日本豪雨による路肩崩壊により通行が規制されております。平成31年度に復旧工事を完了する計画です。 ・他の箇所の維持管理については、平成30年度から31年度にかけて復旧や維持管理を行ってまいります。
68	林業振興課	前津江地区	木材の搬出をする時に作業道を作ったため、山崩れが起きている。市は、森林組合と話し合って木材の搬出方法を考えてほしい。林野庁に相談しているので、市長からも索道に関して補助金が出るように要望してほしい。	【回答】 ①日田市森林整備計画では、「高性能林業機械を用いた伐採を行う場合には、伐木・造材・運材作業に伴う林地の荒廃を招かないよう配慮すること」、「路網開設が困難で崩壊の恐れのある急傾斜地等においては、タワーヤーダ等の架線系集材機の活用も検討すること」とされており、このことについて、森林組合や林業事業者の指導に努めてまいります。 ②森林整備に係る補助金については、間伐、造林、下刈等の施業及びこれらの施業と一体的に実施するシカ柵の設置、作業道の整備等が対象となっており、架線集材は間伐の補助対象に含まれています。以前は本市でも架線による木材搬出が多く行われていましたが、現在は年間数件しかないとのことであり、現時点で補助対象の拡大などの要望は考えておりません。
69	まちづくり推進課	前津江地区	市管理の避難所はここしかないの、地元住民としては、交流センターは市の管理で行ってほしい。	【回答】 ・指定避難所は、市が管理する施設に限定することなく、地域の中で最も安全な場所を地元と協議のうえ指定しています。 一方、交流センターの地元への移管については、他の地域との均衡を図る必要があることから、地元との協議を進めているところです。引き続き、地元への丁寧な説明に努めてまいります。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

課	意見等提出地区	意見・要望	回答
70 林業振興課	高瀬地区	上野町のバッティングセンター上のカーブ上、谷側が保安林で砂地のため、農業用水路からの流水で洗掘されている。土砂で埋め戻したが、保安林だから勝手に埋めると問題になると言われた。しかし、他人の田んぼに土砂が流れ込んで迷惑がかかってしまう。	【回答】 ・平成29年度に地元関係者から農業水路横の山が崩れており対応ができないかとの相談を受け、市（土木、林業）、県（治山）で現地を確認しました。その際に県の治山事業や市の小河川対策事業等での対応ができないことから、原材料支給事業の活用を提案したところですが、 ・出前懇談会後の10月26日には、地元関係者と市、県の担当者で再度、現地立会を行いました。この時には治山ダム上流部の保安林内に土砂を入れ整地されていることを確認しています。 ・保安林制度では、土地の形質等の変更を行う場合、造林又は保育のためにする地ごしらえ、下刈り、つる切り又は枝打ち等の軽易な行為等を除き、通常は県知事の許可が必要となりますことから、県の保安林担当部署にて必要な手続きを行うよう地元関係者をお願いしたところですが。
71 農業振興課 土木課	高瀬	串川町で行った24年災害復旧工事について、再度被災しているが、今後の対応はどうなるのか。（県管理河川にかかる地元管理の橋梁の被災）	【回答】 ・土木課と農業振興課で地元立会いのもと現地調査を行いました。 その後、大分県と協議した結果、県河川の災害復旧事業には該当しないことから、土木課の小規模災害工事、農業振興課の市単小災害復旧事業を実施し対応済みです。
72 都市整備課	高瀬地区	徳行橋の上流に昔から渡り石があって、29年の工事の時に外された。国土交通省は、後で元に戻すと言っていたが一向に戻さない。琴平町の子供の通学路であり住民の利用もあるので、渡り石の復旧を県へ要望してもらいたい。市にしてくれと言っているのではない。	【回答】 ・河川管理者である大分県に対して、地域住民から渡り石を復旧してほしい旨の要望があったことをお伝えしております。
73 土木課	中津江地区	災害時の国道442号線の代替道路について市道田ノ口線の拡幅要望書を出し、平成22年9月30日付けで回答書ももらっているが、5か所の拡幅の要望をしたのに対し、入口と1か所だけはしてもらった。他はどうなっているのか。後日、回答がほしい。	【回答】 ・市道田ノ口線の拡幅要望については、要望5か所の内1か所は対応済みです。その他の2か所については、関係者と協議中のため、工事に着手出来ていません。 今後、関係者等との調整を行いながら、順次改修していく予定です。
74 都市整備課	桂林地区	平成29の災害時に陸上競技場の国旗ポールのそばに穴が開いている。土嚢を入れただけの対処だった。今は袋が風化して土だけが出ている。自分で土手の穴は土を入れたがその後なんの対応もない。先日その穴に子供が入って遊んでいたのに注意した。都市整備課に行ったが、事情を把握していなかった。サービス公社からも連絡はないのか。 ・陸上競技場の東側上部の「いぬばしり」のところにも穴が開いている。側溝も浮いている。市の担当者は承知しているのか。	【回答】 ・出前懇談会翌日の10月24日に都市整備課と指定管理者のサービス公社において、陸上競技場周辺及び大原公園内の法面や通路等の再点検を実施しました。 ・陥没箇所の補修工事を早急に実施するように土木業者に早速依頼をしましたが、災害復旧工事等の対応で早急な対応は厳しく、年内の施工は難しいということでしたので、確認した陥没箇所を立入禁止とし、安全を確保していましたが、平成31年1月25日に補修工事は完了したところですが。
75 上下水道局 防災・危機管理課	桂林地区	各家庭に配布されているハザードマップだが、見ていない人が多いのではないか。校区ごとのマップを配布することができないか。 ・ホームページにアップしていても高齢者等で見れない人もたくさんいる。アナログと共通して両輪で情報提供してほしい。	【回答 上下水道局】 ・内水ハザードマップについては、平成30年6月1日に関係地区の13,500世帯に配布を行っている。なお、地区公民館にも配布しているので、ご確認いただきたい。 その他情報提供については、要請があれば説明に出向くなど対応をしていきたいと考えている。  【回答 防災・危機管理課】 ・災害ハザードマップについては、今年度から見直しに着手しているところで、自主避難所や避難ルートについて、地域と協議を行いながら作成することとしております。その見直し作業の中で、皆様のご意見をいただきながら、地区単位でのマップの作成や配布先等の検討を行ってまいります。

## 平成30年度協働のまちづくり出前懇談会 意見・要望に対する後日回答 一覧表

平成30年度出前懇談会における後日回答を取りまとめました。  
市では、3度の災害を経験し、「次の災害に備える」を基本に「日田市復旧・復興推進計画」を策定し、「防災・減災」にも取り組んでおります。  
災害情報等の情報提供に努めてまいりますので、住民の皆様には、「情報収集」と合わせ、迅速な避難と自主避難をお願いします。

課	意見等提出地区	意見・要望	回答
76 上下水道局	光岡地区	これまで田等にあふれていた水が、分水路を作ることによって集中して渡里川に流れ込み、下流に流れることになる。上流のことばかり考えているが下流のことは考えているのか。納得できる説明をお願いしたい。	【回答】 ・平成30年11月2日（金）吹上公民館にて、吹上町自治会（三役）に説明を行いました。 ・大分県が行う国道212号四車線化拡幅工事と平行して行う雨水幹線整備工事の概要並びに渡里川の流域、流量等について説明する。 ・浸水対策として、国土交通省が花月川の改修（河道拡幅、河底掘削等）を計画し、随時対策が進められていることを説明する。
77 上下水道局	光岡地区	国交省との話し合いでも話が出たが、水門の管理を委託している人への開閉の判断の指示はどうしているか。	【回答】 ・水門管理委託者に対し、梅雨入り前に行う「水門操作講習会」を通じて、水門の基本操作（開閉）の説明・指示を行っています。 また、豪雨が予測される場合は、あらかじめ市から水門管理委託者に対し、開閉の指示を行っています。 ・土地改良区とは、水門の操作（開閉）について、梅雨入り前に連携を取り対応していくよう協議しています。
78 上下水道局	光岡地区	水門の開閉の確認について、大雨の時など緊急な水門の開閉が必要な時などは、開閉したかの確認をすべきだ。	【回答】 ・水門操作講習会等で水門の基本操作（開閉）を徹底するとともに、職員によるパトロール強化を図りたい。
79 防災・危機管理課	光岡地区	ハザードマップで指定したら、指定の理由や対策について地域の人に丁寧な説明をしてほしい。	【回答】 ・現在、災害ハザードマップの見直しを行っています。 この災害ハザードマップは地域の土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの危険な個所についてを説明し、地域と協議しながら、自主避難所や避難ルートの記載を行うこととしています。
80 学校教育課	光岡地区	小学生の荷物が多くてランドセルが重すぎると話題になっているが、週末の帰宅時に給食の袋を持って帰ることがある。ランドセルの端に掛けているが、低学年の児童には紐が長すぎて引きずるようになっている。担任の先生が気を付けて紐を短く結ぶように配慮してもらえないか。	【回答】 ・学校教育課から、すでに光岡小に情報提供済みであり、教頭が、主に低学年児童の担任に対して、児童に注意喚起及び適切に指導するよう指導しております。 併せて、月曜日の登校時にも留意する必要があるため、必要に応じて、学級通信等により保護者に対しても注意喚起を行うよう、今回あらためて光岡小に連絡しております。
81 防災・危機管理課 地方創生推進課	咸宜地区	復旧ができるための市の窓口の一本化を望む。	【回答 防災・危機管理課】 ・被災後の復旧については、日田市復旧・復興推進計画を策定し、その取りまとめを地方創生推進課が窓口となり実施しているところです。 災害対応は庁内各部にわたりますことから、窓口の一本化は難しいと考えます。  【回答 地方創生推進課】 ・災害に関する総合的な相談窓口として、本庁1階の「3日以内窓口」で対応しており、関係部署へ速やかに連絡しているところです。 このほか、振興局・振興センターの窓口でも受付を行い、関係部署と協力する体制を周知・徹底してまいります。